

第9期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定に関する第4回懇話会議事録

1 日時 令和6年1月31日（水） 午後1時30分～午後2時30分

2 場所 酒田市民会館 小ホール

3 出席者

【酒田市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定に関する懇話会委員 計16名 敬称略】

酒田地区医師会十全堂	◎酒井 朋久
酒田地区歯科医師会	茂木 健一
酒田地区薬剤師会	小松 ルミ
酒田市社会福祉協議会	○梅木 和広
酒田市民生児童委員協議会	佐藤 やす子
酒田市介護サービス事業者連絡協議会	佐藤 美和
酒田飽海地区特別養護老人ホーム連絡協議会	村上 悦美
酒田市平田自治会連合会	佐藤 賢一
酒田市コミュニティ振興会連絡協議会	佐藤 善一
八幡地域コミュニティ振興会連絡協議会	小松 久美子
酒田市老人クラブ連合会	西田 不二郎
東北公益文科大学	鎌田 剛
酒田市地域包括支援センター	堀 由美子
酒田市ケアマネジャー連絡協議会	伊藤 春恵
一般公募	朝岡 剛
一般公募	阿曾 眞由美

◎会長、○副会長

【事務局（酒田市）】

健康福祉部長、地域医療調整監、高齢者支援課長、福祉企画課長、健康課長、
（以下高齢者支援課）課長補佐、課長補佐兼地域包括支援係長、課長補佐兼介護給付係長、
高齢者支援主査兼係長、介護認定係長、専門員

4 会議記録

○酒井会長あいさつ

新年から能登半島地震が発生し、先日は東京で震度4の地震がありました。地震への備えの必要性を実感しております。今回は、皆様のご意見を集約した計画書に関する意見交換となります。どうぞよろしくお願いいたします。

[以下、事務局より資料に沿って説明。その後意見交換]

(1) 第9期介護保険料(案)について

～なし～

(2) 日常生活圏域と地域包括支援センターについて

～なし～

(3) 第9期計画書(案)について

(委員)

地域説明会の周知方法についてお聞きします。

(事務局)

市内全域を対象とした総合文化センター、公益研修センターや各総合支所エリアは、市広報と市のホームページで周知を図る予定です。圏域見直しの対象となるコミュニティ振興会単位は、自治会回覧による周知を考えております。

(委員)

公益研修センター分は、川南地区の民生委員やコミュニティ振興会などにも周知いただきたい。

(事務局)

対応いたします。

(委員)

重点項目10災害・感染症に対する備えの中で、業務継続計画(以下「BCP」という。)の作成についてお聞きします。来年度、居宅介護支援事業にも作成が求められていますが、ケアマネジャーが働けなくなった場合は、地域包括支援センターに頼ることになると思われます。酒田市と地域包括支援センター間でのBCP作成や机上訓練などの予定があるかお聞きします。

(事務局)

地域包括支援センターにおいては、市の対応を含めたBCPは作成していない状況です。能登半島地震の際に、市内福祉避難所へ受入状況を聞取りしましたが、市の情報提供も不十分だったと反省しています。市の委託事業である地域包括支援センター業務にかかるBCPについては、情報共有しながら検討して参りたいと考えております。

(委員)

BCPについて、特に居宅介護支援事業所のみ事業所は、地域包括支援センターとの連携が必要になると思われます。地域包括支援センターとして、市から方針を出してほしいという意見は以前からありましたが、各々作成したうえで常に見直しをするよう研修を受けています。

ただ、熊本地震では、居宅支援事業所から地域包括支援センターへの避難情報報告が、自治会などからの問い合わせに役立ったと聞いていますので、市の協力体制を示してもらうことで、スムーズな連携が図れると思います。

(事務局)

地域包括支援センター任せではなく、市も交えたBCP作成を進めたいと考えております。

(会長)

難しい問題だと思いますが、取り組みを進めていただきたいと思います。

(4) その他

・映画「オレンジランプ」の上映について

(委員)

能登半島地震の際に、一人暮らしの方などの避難件数を把握しているかお聞きします。

(事務局)

市では、自分で避難できない方を、自治会ごとに要援護者台帳登録いただいています。この度の地震における避難件数は押さえていませんが、個別には民生委員や自治会長が連携して、車で迎えに行き高台などに避難したという事例もお聞きしています。

(委員)

今回、避難する方々で八幡街道の観音寺あたりまで渋滞が続いたとお聞きしていますが、沿岸部の方々や特別養護老人ホーム芙蓉荘の方々は何処に避難するのか、ハザードマップに記載されているのか心配になりました。今回の件を、詳しく細かく検証する必要があると感じました。

(健康福祉部長)

地震については、通常の避難訓練や防災訓練が非常に大事となります。津波が発生した場合、車で避難するのは危険であることから、各地域で決められている高台などの避難場所や避難所を、地域防災計画などで確認をしていただきたいと思います。今回、避難指示はハザードマップエリアとすべきだったかもしれません。また、福祉避難所へ受入体制を確認したものの、幸いにも開設はしませんでした。そのような課題について、対策を検討してまいりたいと考えております。

(会長)

検診受診率の目標は60%とありますが、避難訓練の場合はどうか、100%でなくても多くの方から参加してもらえば冷静に対応できるのでないか、火災の場合なのか地震の場合のかなど、頭の中で整理するためには体を動かすことが大事だと思いながら、聞かせていただきました。

(委員)

地域説明会について、以前は自治会長や民生委員の方々が多く、地域住民の人たちは出てなかった記憶にあります。日常生活圏域の見直しなどの内容も添えて回覧をした方が良いのではないかと思います。また、地域包括支援センターは再編しなければいけないと思いますが、地域住民のために、負担や不安が無いよう住民の声を届けたいと思っています。

(事務局)

できるだけ多くの方が足を運んでいただくよう、ご案内したいと考えております。

○健康福祉部長あいさつ

皆様から4回にわたり貴重なご意見いただき、第9期計画策定までこぎつけられたと思っております。協議できなかった課題もあり、時代の進む流れの中で新しい課題や対応すべき問題が出てくると思っておりますので、この懇話会だけではなく、その都度皆様からご指導ご協力をいただければと思っております。

今回、皆様からご参加いただきご意見を頂戴したこと、酒井会長、梅木副会長から座長として会を進めていただいたことに御礼申し上げます。ありがとうございました。

以上